

平成30年度第1回福祉コミュニティエリア整備事業
 (生涯活躍のまち形成事業) 地域再生協議会会議録

開催日時	平成30年8月5日 日曜日 12時00分～
開催場所	市役所 本庁舎8階第2会議室
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 議事 (1) 平成29年度事業実績および平成30年度事業予定について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
出席委員	齋藤 征人 会長 本吉 孝年 委員 平野 幸夫 委員 桜井 陽子 委員 林原 則子 委員 加藤 裕彬 委員 樋口 千恵 委員 萩野 貴也 委員 大橋 美幸 委員 清水 玲子 委員
オブザーバー	社会福祉法人善智会 波多野 治理事長
欠席委員	なし
事務局	保健福祉部地域包括ケア推進課 課長 小棚木 大輔 保健福祉部地域包括ケア推進課 主査 三戸 賢広 株式会社北海道二十一世紀総合研究所 調査研究部長 小山 秀教

- 1 開 会
- 2 事務局新体制紹介
- 3 保健福祉部次長挨拶
- 4 新委員およびオブザーバー紹介
- 5 議 事（要旨）

齋藤会長

改めまして皆さんこんにちは。日曜日ということでお休みのなかご参集いただきまして本当にありがとうございます。今年度の第1回目の地域再生協議会ということでご協力よろしくお願いたします。それでは議事を進めてまいります。まず初めに、事務局から平成29年度の事業実績と平成30年度の事業予定について説明をお願いいたします。

事務局説明（配布資料説明）

- ・平成29年度道路整備状況および平成30年度道路整備予定について
- ・平成29年度 KPI を含めた各目標の達成状況について

齋藤会長

続きまして、飛行機の遅れにより、加藤委員がまだ到着されておられませんので、随行の中野施設長から日吉コミュニティエリア内の高齢者施設の状況について説明をお願いいたします。

加藤委員随行者（中野特別養護老人ホーム施設長）

- ・平成29年度各介護施設の建設状況
- ・各介護施設の入居者、利用者状況
 - 広域型特別養護老人ホーム（ベルソーレ）24名
 - サービス付き高齢者向け住宅（コリーナ、アルバ）26名
 - グループホーム（ベラルーナ）9名
 - 地域密着型特別養護老人ホーム（志）29名
 - グループホーム（そよかぜ日好）18名
 - 看護小規模多機能型居宅介護事業所（ひよしわたな）15名（利用者）

齋藤会長

次に、ソフト事業の説明をお願いいたします。

清水委員

- ・平成29年度ソフト事業
 - 日吉コミュニティエリアニーズ調査（エリア周辺住民）
 - ワークショップの開催
 - 函館臨床福祉専門学校との合同シンポジウム開催（函館蔦屋書店）
 - 北海道函館暮らしセミナー開催（東京：ふるさと回帰支援センター）
 - 「いきいきトークカフェ」開催（札幌市：北海道新聞本社ビル）
- ・平成30年度ソフト事業
 - 健康体操教室（月平均15回）
 - ボランティアネットワークの構築
 - 七夕イベント
 - 就労支援（就労情報発信）
 - 多世代交流センターニュースの作成
 - Facebookによる情報発信
 - 各種イベントの開催

齋藤会長

次に、商業エリアなどの進捗状況についてご説明をお願いいたします。

樋口委員

- ・集合住宅の配置変更
- ・宅地状況
 - 東側宅地46区画中20区画販売済み
 - 西側宅地55区画 今年の秋頃に完成予定
- ・商業エリア
 - ドラッグストア（平成30年10月18日オープン予定）
 - スーパーマーケット（平成31年10月または11月オープン予定）

齋藤会長

懸案だった商業施設などの整備状況や、インフラ整備の状況、KPIを含めた目標の達成状況、それから地域再生推進法人から施設の状況、入居者の状況、ソフト事業の展開などの説明がありましたので、ここで一括して質疑に入りたいと思いますが、ご質問やご意見などございますか。

大橋委員

まず、先ほど施設名をいろいろ言っていたが、広域型はどれで、満床になるのはいつぐらいの予定なのかというのをお聞かせ願います。次に、住宅についてですが、20区画が販売されている中で、東京圏から移り住んでこられる方がどれくらいいらっしゃるのか、また、年代層わかれば教えてください。もう一つ、地元の方で共同住宅を建てる話があると言われておりましたが、その共同住宅はグループハウスみたいなものなのか、単なる賃貸住宅なのかを聞かせてください。また、多世代交流センターで、ボランティアが48人ということですが、おおよその年代層と、その方々が地元の方なのかどうかというところを聞かせてください。あと、シニアプラン作成の目標達成件数が平成29年度は0件ですが、今年度に入ってからあったかどうか。それと、地域福祉の相談件数が平成30年度から現在まで62件と書かれておりましたが、その内容をお聞かせください。

齋藤会長

順次、ご説明求められた件について、まず施設ごとの入居者の状況と、それから満床になる見込みについて、中野施設長に説明をお願いします。

加藤委員随行者（中野特別養護老人ホーム施設長）

善智会運営のベルソールが広域型特養、そして結絆の会で運営しているのが地域密着型特別養護老人ホーム「志」、株式会社ハーモニーで運営をしております地域密着型特定施設入居者生活介護がコリーナとアルバの2棟と、認知症対応型のグループホームがベラルーナ、そして有限会社ウィズが運営しております看護小規模多機能型の複合施設が「ひよしわたな」となっております。

満床の時期に関しては、現在、広域型特養のベルソールの入居者が24名というところではありますが、1日も早く、介護人材の確保も同時進行で今年度中の満床を目標にしていきたいと思っております。

齋藤会長

続きまして、住宅の販売状況の中で、当初首都圏方面からの移住を念頭に置いていたとのことだがどうだったのか、年代層はどうなのか、あるいは地元の共同住宅を運営しようとしていく中で、運営形式について情報があればということなので、樋口委員、または事務の方からお願いします。

樋口委員随行者

移住につきましては残念ながら関東圏からの移住者は0、札幌から1世帯、函館近郊から2世帯です。購入世代は30代～40代が主ですが、今回の運営会議のときにはパーセンテージも含めて報告できるように資料を準備したいと思います。

樋口委員

もう1点、集合住宅がどのようなものかということですが、介護の人材として働く方の居住の場として非常にニーズがあると思っていますので、内部で議論しながら、もう少し検討を進めているところです。

齋藤会長

いきなり一戸建てというのはハードルが高いので、共同住宅の話はこれまでも話題になっていたと思いますので、エリア内で働く人の利便も含めて検討中ということで理解してよろしいでしょうか。

続きまして、いわゆるソフト事業の部分で、地元の人がボランティアに来てらっしゃるのか、そのボランティアの層というか属性みたいなものの概略が分かればと思いますので、清水委員から説明をお願いします。

清水委員

ボランティアの年代層は、10代の方から60代までの方たちです。10代の方は、近くの中学校の生徒です。本を読み立ち寄っていた生徒から、「この本を並べ替えて、作家別にしていますか」と尋ねられ、ボランティア活動を促したところ、友達も一緒になり手伝ってくれています。それと20代の方は、去年のニーズ調査と一緒に参加してくれた学生ですが、時間のあるときに手伝いに来てくれています。30代の方は、本を借りに来たときに本が乱雑になっているのを並べ替えたり、「私のおすすめ本っていうカードを書いてもいいですか」という形での参加をいただいています。50代、60代の参加が一番多いのですが、「介護施設で私にできることがあればお手伝いさせてください」とか、積極的な方が多いです。今のところ各年代の総勢48名の参加があります。

福祉相談の内容で一番多いのは、コンテ日吉内の各施設への見学の間合せですが、こちらでアポをとり中継ぎをしています。また、相談員が常駐しており、例えば、「今まで隣の奥さんに買い物を頼んでいたけど最近ちょっと心苦しくて」という世間話の中から、「そういうことはこういうところに相談したほうがいいんですよ」などと、行政や地域包括支援センターにつながるように促すなど、件数は全部で62件となっております。

齋藤会長

シニアプランの件はどうでしょうかね。同じく、清水委員をお願いします。

清水委員

シニアプランは難しいですね。今のところ移住に直接つながるようなビッグイン

パクトの出来事が起きていない。今後、商業施設が全部建って、「ここで私が生活したら」といったイメージを、移住を希望して居る方が抱けるような状況になってからだと本格的に動くのかもしれないなと思っています。今の段階で空き地のところにスーパー建つんですよと言われていても、まだ建っていないものに夢は描けないと思っているので、このシニアプランに関して、今はゼロ件ではあるけれども、今後は期待できるのではないかと考えております。

齋藤会長

大橋委員、いかがでしょうか。大丈夫ですか。

大橋委員

はい。ありがとうございます。

齋藤会長

その他にご質問ございませんか。

平野委員

街灯について、東側の宅地にはすでに入居されていたので、町会で来年に設置する準備をしています。西側の宅地のインフラの図をみましたが、街灯の設置は市でやってくれるのか、また町会でやるのか、町会の予算の関係もあり、そこを明確にしてもらいたい。それから、東側の今の入居している方々の町会の加入状況のことですが、6月に加入を促す文書を流し、9件の方から加入の返事をいただいております。そのうちの6件から既に町会費をいただきました。残りの3件もこの会議が終わってから夜遅くならないうちに伺おうかと思っています。

齋藤会長

ご報告ありがとうございます。町会での加入がちょっとネガティブかなと思ったのですが、平野会長にご尽力いただき、比較的順調に加入が進んでいるようです。

街灯の件は、樋口委員からご発言をお願いします。

樋口委員

基本的には東側街区と同じようにと考えています。

樋口委員随行者

東側街区と同様に、設置は予定しておりません。今後、もし設置するということであれば、市も含めて協議を進めていく必要があるものと感じております。

齋藤会長

この件は前回も議論になっていたかと思いますが、事務局からもご発言をお願いします。

事務局

街灯の件に関しましては、平野会長も十分ご承知かと思いますが、函館市の担当部局としては、街灯の補助金に関しては市民部、また道路の街灯の管理に関しては土木部になっておりますので、そこで協議する形になると思います。その協議の場は私の方で整えますので、そこで平野会長と担当部局とが協議していただきたいと思います。

齋藤会長

平野委員には、そのような形で進めていただければと思います。
他に何かございませんか。

波多野理事長

プロモーションに関してもう少し具体的にお話していただきたい。

清水委員

介護施設や商業施設などをすべて網羅したコンテ日吉全体のパンフレットが作成されておらず今後の課題となっており、出来上がり次第、全国に広く配布したり、説明資料として利用したいと考えている。

今のところフェイスブックのみの情報発信であり、これから展開していきたい。

波多野理事長

パンフレットの配布とは具体的にはどこに配る予定ですか。

清水委員

例えば、東京のふるさと回帰支援センターなどに置いていただこうと考えています。

齋藤会長

そのほか何かありますでしょうか。

桜井委員

函館福ちゃん保育園では現在、65世帯の75名の園児をお預かりしておりますが、保護者から、信号機はこれからどのようにつくのかと質問されます。セイコー

マーットの通りの交通量がかなり多くなり、小学生などの登下校のとき危ない場面が見られるという保護者の声を聞くこともあり、教えていただければと思います。

齋藤会長

平野委員も関連するご発言はありますか。

平野委員

昨日、セイコーマーットの前に今月10日に信号機がつくという資料を頂きました。設置されたら見に行こうと思っています。毎朝小学生が通学するときにセイコーマーットの前に見ておりましたが、6月27日だったと思いますが、近くの床屋さんの方向から来た車と、旧郵便局の方向から来た車がぶつかっているのを見ました。

桜井委員

信号機はセイコーマーットのところだけですか。

平野委員

そうです。

齋藤会長

信号機の関連で事務局から説明ありますか。

事務局

桜井委員と平野委員からお話があったとおり、我々にも8月10日にセイコーマーットのところの交差点に信号機がつくという情報がきております。北日吉小学校には北海道の方から資料が配付されていると思います。

齋藤会長

桜井委員、交通の面での危険性や不安な点など他にありますか。

桜井委員

東側街区の46区画に住宅を建てた保護者の方から、交通量が多くなったので、近場に通園に便利な横断歩道や信号機が設置されないのかとおっしゃった保護者の方も何名かいた。これから交通量が増えていく場合、そういうところを考えていただければと思う。

齋藤会長

今すぐ回答という状況ではないが、住宅が増えるに従って注視していかなければ

ならない事項として押さえておきたいと思います。

それ以外に何かありますでしょうか。

平野委員

東側の宅地や、福ちゃん保育園の近くに小さな公園があり、ブランコ、鉄棒、すべり台が設置されているが、利用方法は市で制限しているのか。この前保護者から「ここで子どもにサッカーボール蹴らせたらまずいでしょうか」と聞かれました。公園の利用方法に何か制限があるのか、そこを教えていただきたい。

事務局

公園等は土木部が担当部局になりますが、確認のうえ、平野会長に報告させていただきたいと思います。

齋藤会長

利用方法の注意の看板を立てるなどの対応が、本当はいいんでしょうね。公園を利用する人たち一人一人に平野会長が説明するのは現実的ではない。

事務局

そこも含めて協議させていただければと思います。

齋藤会長

その他、いかがでしょうか。

桜井委員

保育園の隣の公園に子ども用ではない運動器具があり、本来はぶらさがって使う器具に、子どもが上まで高く登ったり、そこでふざけあたりという場面が結構あり、見ている側としては、ケガがすごく心配で、職員にも注意の声かけをお願いしているのですが、そういうのも併せて注意を促す看板などを検討していただければと思います。

齋藤会長

本件も事務局に調整をお願いするということによろしいでしょうか。それでは、先ほどの件と一括して事務局に対応をお願いしたいと思います。

その他いかがでしょうか。

昨年度の目標値とそれに対する実績を見ると、ソフト事業は数字的にはいまひとつに見て取れるわけですが、先ほどの説明から拝察すると、多世代交流センターは活発に活動されており、数字と実際の活動状況の印象の違いがあると思います。こ

の4, 5, 6月のネガティブな状況の中でかなり健闘されたという印象を持ちました。地域住民のご協力やご理解など、昨年からの活動の中で繋げてきたものがあるからこそ思うのですが、清水委員から、実感とか、地域の強みとか、あるいはこういった活動を展開していく上での、今までのご経験での際だった部分とか、数字に出てこない部分について少しご説明や補足をいただければと思うのですがいかがでしょうか。

清水委員

地域づくり, コミュニティづくりの仕事に携わり, 何に一番苦勞してきたかというところ, ボランティアに積極的に参加していただくには, 何かの目玉がないと参加していただけないというところ。日吉のこの地域では, 昨年, 教育大学の学生と一緒に地域をまわったことが大きく影響したのか, 顔見知りになっていただいたり, 学生さんがいたから私たちと話しをしていただけた地域の方達がたくさんおりました。その方達が, 3月のオープンのときから, こちらから具体的な提案をしていない時期にもかかわらず, 「私たちにできることがあったら参加させてください」と, 1ヶ月の間に10人の方から声をかけていただきました。そのときに, 1年間調査でまわって, 「皆さんと力を合わせてやりたい」と話をしていたことが理解されていたんだなと思いました。この10人の方や学生にあらためて手書きで「ボランティア活動に参加してください。」とハガキを出しました。「返事は要りません, ご都合が悪ければ結構です」と書いたんですが, 全員からお電話をいただきました。参加できない方からも「こんな素敵なハガキをもらったのに参加できなくてごめんなさい, 次回から誘ってください」とのお返事があり, 今まで私が経験してきたコミュニティ作りの中で初めての出来事でした。こんなに積極的に, だけど控えめに, お手伝いを申し出ただけの地域は初めてで, 実は, 本当に感動しました。それがあって, 今1, 000冊の本が集まり, 皆さん大事にあの図書コーナーを使ってきていて, 誰ひとり乱雑に扱わずに, 毎日3, 4人は本を借りに来てくれています。日吉の方達には本当に心が温まるというか, 縁の下の力持ちのようにしていただいております。また, 体操教室の時に, 駐車場の心配がありましたが, 皆さん, 歩いてくるか, 乗り合わせてきてくれるなど, 助け合いが根付いている土地なんだなと思っております。いろんな形でボランティアが芽吹くと思っています。まだオープンして4カ月です。今後もみなさんのお力を借りて, 多世代交流センターが皆さんの財産となっていくことに私は協力をしていきたいと思っています。

齋藤会長

ありがとうございました。

多世代交流センターは今何人で運営しているのでしょうか。

清水委員

2人です。

齋藤会長

わかりました。なお、多世代交流センターの利用者の延人数を、どこかのタイミングで、実数でなくて構いませんので、エリア内の方と一般来場者の方の別で分類した延人数の概略がわかればと思いました。

それから、介護人材の不足の心配が他の委員会でもかなり出てきていて、介護施設への入所者の受け入れが大丈夫かどうかを危惧する声もあるのですが、どのような状況かをご質問させていただいてよろしいでしょうか。波多野理事長お願いします。

波多野理事長

当初の予定よりも入所がかなり遅れているのは確かだと思います。介護職の人数は集まっているのですが、ミスマッチというか、早番、遅番のできる方が少なく、昼間は人数がだぶついている状況で、入所をなかなか進めていけない状況です。早番、遅番に見合った報酬や給料を用意することが大事だと考えており、検討を進めていかなければと思っています。

また、函館は外国人観光客がたくさんいらっしゃるのですが、働く現場でも外国人の雇用をするべきだと思っています。この10月から13人の中国人を雇用する予定です。この中国人は湯川町の日本語学校に入学する手続きを取っており、就学ビザで午前中に学校に通うとともに、週28時間の就労が可能となります。彼らは少なくとも遅番の勤務に関しては少し戦力になるのかなと検討している。そうすれば、待機者も結構いますので、入所者が増えていくと思います。

齋藤会長

他にいかがでしょうか。ご発言はよろしいでしょうか。

それでは、平成29年度事業実績、平成30年度事業予定については以上の質疑をもって協議を終了し、その他といたしまして、新しく福祉コミュニティエリア整備事業を進められる代表法人の加藤委員から、今後のエリアの展望等についてお話をいただきたいと思います。

加藤委員

本日は少し遅れて出席し申し訳ありません。この話を聞いたのは、今年の4月の末で、5月25日に市の保健福祉部にご挨拶に伺い、医師会、保健所などをまわりました。拝見したプランは膨大で、一つずつ把握していかないと絶対うまくいかない。把握するセクションが13箇所あり、一つずつそれを自分の目で見えて把握して

いこうと、そう思ってやっているところです。全体が膨大なもので、ちょっとやそっとでは完全には理解できないと思いますが、遅くとも一つずつやっていく、そのつもりでおります。

齋藤会長

ありがとうございます。今回からは医療法人と社会福祉法人の理事長が別々ですので、オブザーバーとして社会福祉法人の波多野理事長にもご臨席いただいております。波多野理事長お願いします。

波多野理事長

実は、飯田委員からは何の引継ぎもなかったもので、暗中模索で一つずつ紐といてきているところです。当法人だけで定員100人の特養、それから多世代交流センターも運営していますが、CCRCをぜひ成功させたいと思っています。短期的にはまず入所者を増やさなければいけないと奮闘しているところです。長期的に見た場合には、良い仕事をして、良い口コミを増やしていき、首都圏からの移住を促進していきたい。そのためにはどうすればいいかを、私だけでなく皆さんで考えていきたい。ただ単に入所者数を増やすだけでは、単なる介護施設の集まった場所、ただの介護村みたくなくなってしまうが、それではCCRCの意味が全くありませんから、若い世代を含めてエリアに入ってきていただきたいと思っている。

また、財政的にも、介護される人だけが増え、税金を払える世代が入ってこなければ継続的な運営ができないと思いますので、いろいろ皆さんとお話する機会を持ちたいと思います。

先ほどの信号機などのお話を聞いていましたが、市においても縦割りの仕事ぶりではなく、横のつながりをもって頑張っていただいて、このエリアの宣伝で観光部局とジョイントできないのかとか、市にご尽力していただければと思っています。例えば、函館に最初に遊びに行こうと思って「はこぶら」のホームページなどを見たときに、何らかの形でコンテ日吉のバナーみたいなものが目につくところに置いていただけないかなど。

最後に、アルファコートさんを中心に、エリアの宅地に居住を開始した若年層の方たちには、例えば、将来いずれ介護が必要になったときに優先的にエリア内の施設に入所できるなど、そういう仕組みなどは特に決めていないのではと思いますので、そうした議論も深めていただければと思います。また、ボランティアに対しても何らかの報酬は必要かと思っています。満足感や達成感というのも報酬だと思えますが、いろいろ手伝ってくださった方が、いずれ介護が必要になったときに、やっぱり何らかの形で優先的にエリア内の施設に入れるとか、そういったことがないと難しいと思っています。

齋藤会長

ありがとうございました。4月以降、代表法人の理事長が交代された状況があり、今後の所信表明の機会というわけではありませんが、加藤委員と波多野理事長からご発言いただきまして、決意についてうかがえたところでございますが、お二人には、新しい目で、今までの議論に関わってきていない新しい視点でいろいろ考えたり、構想してる部分もあると思いますので、委員の皆様方から、ご助言とか質問とかいただければなと思っておりますが、いかがでしょうか。

加藤委員

私は、25年前に道東の病院で数年間お手伝いさせてもらって以来、25年ぶりに北海道にまいりました。平成の初めに、ある金融機関から呼ばれまして、再建を頼まれまして、宮崎に行ったのがふりだしです。成功したところもあり、だめだったところもあり、だいたい7割が成功して3割がだめでした。どうすればだめになるのか、どうすればよくなるのか、身にしみてわかっています。少しでも役に立てればと思っております。

齋藤会長

大変心強いお言葉ありがとうございました。他にご質問とかご意見とかありませんでしょうか。

波多野理事長

先ほどの中国人の雇用のことで補足があります。この13人は全員中国で看護師の資格を持っており、就学で午前中は学校に通い、午後はもう実践で働ける人たちとして受け入れます。少なくとも5年は滞在し、その間に日本のスタッフがおそらく集まってくるものと期待しています。

齋藤会長

中国人の介護人材についての状況を話していただきました。また、函館市に対しましては、縦割りを取り払ってご協力いただきたいとの発言がありました。

コンテ日吉のエリア内で、こういうことを期待しているなどのご発言はいかがでしょう。

林原委員

日吉町はとにかく高齢者が多い地域なので、こういう高齢者の施設ができることも、大変ありがたいことですし、若い方たちがここに引っ越してこられるのも大変頼もしいことです。お話を伺い、若い方のボランティアの方がいらっしやっていて、大変なご苦労があつてこうなったんだとわかり、大変頼もしく思いました。私たち

も、民生委員としてというより、日吉の住人として、何かありましたら私たちにも声をかけていただいて、ご協力できることはしたいと思います。よろしく願いいたします。

齋藤会長

住民の方々の参加があつて、コンテ日吉の多世代交流センターの活性化につながるものだと思いますので、これからもご協力をよろしく願いしたいと思います。それから、障がい者、高齢者の雇用促進についてのご発言がありましたけれども、どんな見通しでいらっしゃるのか、エリア全体でどういう雇用を想定してるのかなど。どなたかご発言をお願いします。

清水委員

今のところ雇用までは至っていないのが現実です。障がい者就労事業所において、コンテ日吉を実習の場にするのは可能かと思っております。8月17日にラビットファームさんがパンの販売に来てくれるなど、現実化しました。コンテ日吉が、障がい者が活躍するステージの一つになればいいかなと思ひ動きました。

齋藤会長

多世代交流センターだけの活動で雇用に結びつけるのはなかなか難しいと思ひます。また、障がい者や高齢者の活動がエリア内で行き来するようなチャンスがあればと思ひています。構成員の法人の中で、障がい者や高齢者の団体の入替は想定されているのか。

加藤委員随行者

今の構成員の障がい者、高齢者団体はそのままと考えています。

齋藤会長

代表法人から、構成員との連携状況、課題、現状などを伺えればと思ひたがいかげでしょうか。

波多野理事長（医療法人社団善智寿会理事）

連携としては、医療法人としては診療、往診です。エリア内の往診や、地域の方に受診していただくためにも、外来、しかも小児科を早く立ち上げたいと思ひています。往診に関して内部の整理があり、その整理が終われば私が往診し、スピード感をもってやっていきたいと考えております。

齋藤会長

コンテ日吉内での構成員間の連携や情報共有など、スピード感をもってすすめていただければと思います。現状では、より一層そういった対応が求められると思います。大橋委員から何かありますか。おそらく私以上にコンテ日吉には以前から注目されていて詳しいと思いますので、ご評価なり、ご示唆なりをいただければと思います。

大橋委員

「生涯活躍のまち」として求められているものが変わって、条件が緩くなってきていると聞いております。首都圏からの高齢者の移住が別に無くてもいいと言われ出してるなど、そのような情報はありますか。

齋藤会長

首都圏から地方への移住政策としての、政策的な意図は変わってきていませんかという確認ですね。

大橋委員

他の「生涯活躍のまち」をやっているところから聞きました。

齋藤会長

自称ですか。内閣府認定のところですか。

大橋委員

内閣府認定のところですよ。「うちは別に首都圏から高齢者受けようと思ってない」と聞きました。それであれば頑張らなくてもいいのではという気もしています。

事務局

東京だけではなく、他の地域からもと、視野を広げてもいいという考えはございますが、だからといって首都圏対象の取組をやらないということにはならず、幅広くやっていきたいと思っております。

齋藤会長

事務局の認識としては、国の施策が変わってきているとは思っていないが、射程範囲は広くしなければならぬだろうということですね。先ほどのご説明では北海道内からの移住者のことを考えると、首都圏にがんがんプロモーションしていくのか、それとももっと近隣にフォーカスを当てていくのか、戦略を考えなければいけない時期なのかもしれません。萩野委員、ご発言をお願いします。

萩野委員

これからも推移を見守りながら、函館市さんが中心になってやっていただければと思います。首都圏の話については聞いていないが、あまりこだわらずに、将来どういったものを作るかということを考えていただきたい。いろいろと課題が出てくると思うが、こういう場で良い方向に持って行っていただきたいと思っています。

齋藤会長

本吉委員，ご発言はいかがでしょうか。

本吉委員

代表法人の善智寿会からは加藤理事長が出席されており，構成員もいらっしやっている。齋藤会長もおっしゃっていたように連携はとても大事だと考えている。コンテ日吉の中で，皆さんが何をやっているのか，きっちり把握することが大事だと思うし，それぞれ，善智会の波多野理事長であれば施設運営，人材確保や入所者への対応，町会は，街路灯や信号機の問題，地域の安全・安心を守る役割などいろいろな役割をお持ちだと思う。

市は，福祉コミュニティエリア整備事業の協定に基づき，代表法人および構成員と協力し合うこととしており，移住の関係など協力できることもあるので，代表法人と構成員の全体会議を数多く開催して頂き，皆さんで連携を図って，より良いエリアになっていければ望ましいと思います。

齋藤会長

これまで以上に代表法人のリーダーシップが求められると思っている。

私が他のところでソフト事業などに関わらせていただいたところでは，お金をかけない方向で考えるとしても，ゼロではできない。予算をかけるところはしっかりかけて，削るところはしっかり削って，住民の力を借りられるところはそこを存分に活かしていただきたいと考えている。他地域からも大変注目されており，視察も結構あると思う。これを一つのケーススタディ，研究材料として，他の街の生涯活躍のまちづくりに，ここを一つの研究材料にしながら，そういう意味でも注目されていると思いますので，我々もこれから引き続き意見とか，あるいはこう何か，考え方を密にして，共有して，伝えていきながら，より良いものにしていければなと思います。引き続き委員の皆様におかれましては，ご協力よろしくお願ひしたいと思います。予定していた内容，私の方からは以上でございます。事務局から何かございますでしょうか。

事務局

事務局からは特にございません。

齋藤会長

今後のスケジュールについて説明いただいてよろしいでしょうか。

事務局

今後のスケジュールとしては、来年の7月頃を目途に次の地域再生協議会を開催したいと思います。以上でございます。

齋藤会長

それまでの間、さまざま皆様方お感じになってご意見とか出ると思いますので、都度、地域包括ケア推進課という新たな部署ができたことでございますし、そういう意味では忌憚なくご意見を活発にさせていただけたらと思います。それでは全体通して皆様から何かございませんでしょうか。それでは、予定の時間若干過ぎましたが、本日の協議会これで終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。